

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おひさまの家作成日: 令和元年8月9日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	ホームの夏祭りや敬老会、餅つき会に、地域の方の参加は多いが、利用者が地域へ出かけて行く形での日常的な交流までには至っていないため、今後の課題として取り組んでいく。	地域住民やボランティア、家族の協力を得て、地域の行事や活動に積極的に参加して、地域の一員としての交流を広げ、利用者の生きがいに繋げていく。	12ヶ月
2		レクリエーションの充実	毎日10分ずつの元気浴等、意欲的に取り組んでいるが、屋内で行うレクリエーションや外出、外食レクリエーションの充実を図っていく。	利用者の希望を聴いて、花見や買い物、外食、ドライブに出かけ、利用者の気分転換を図っていく。また、レクリエーションが得意な職員を中心に、利用者が興味を持って参加できるレクリエーションに取り組み、利用者の笑顔に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。